

平成24年度

武雄市当初予算概要



平成24年2月24日 記者発表資料

| 一般会計の当初予算の概要

■当初予算の概要

当初予算額 2 1 2 億 6 5 3 6 . 1 万円

〔 ※ 対前年比 ▲ 1 3 5 6 . 8 万円
▲ 0 . 1 % 〕

過去最大規模であったH23当初予算額とほぼ同額




行政改革効果と合併支援措置を背景に、以下の

3本を柱に予算案を編成

- ・ 将来への投資
- ・ 直面する課題への対応等
- ・ 将来への備え

II 一般会計の主な事業



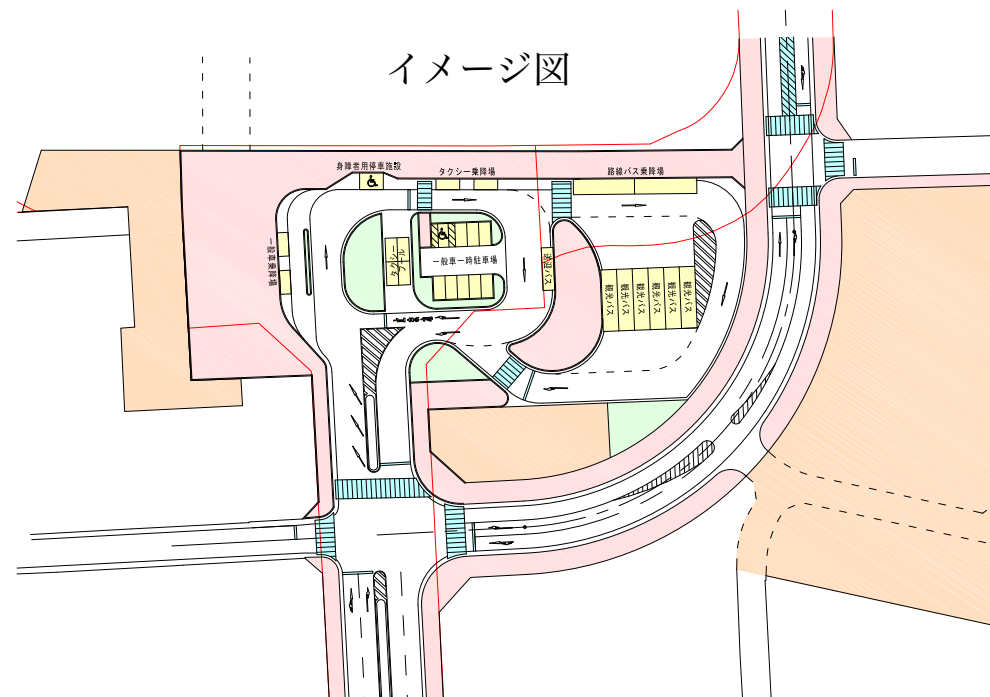


- 将来への投資

■ 武雄温泉駅南口周辺整備事業

予算額	1600万0千円
国費	880万0千円
市債	680万0千円

- 九州新幹線西九州ルートの開業に向け、武雄温泉駅南口の周辺整備に係る測量設計を行います。



■ 中野御船山線街路事業 (西浦通り)

予算額	1億7717万9千円
国費	9592万0千円
市債	7650万0千円

- 引き続き当該路線の整備を進め、南北市街地の一体化を強化し、利便性と交通安全の向上を図ります。



■ 主要道路整備事業

予 算 額	2億5000万0千円
国 費	1億3750万7千円
市 債	1億 680万0千円

- 未整備の主要な幹線道路を、現道拡幅や歩道設置等を行うことで利便性と交通安全の向上を図ります。

- ◆ 市道五反田山下線
- ◆ 市道大野下黒髪線

新規事業

市道インター西線

新規事業

市道馬神原田線（防災工）



■企業誘致活動事業

予 算 額

1063万5千円

- 平成23年度10月に完成・分譲開始した、武雄北方インター工業団地への企業誘致活動に取り組みます。



■誘客推進活動事業

予 算 額	3 1 7 9 万 7 千 円
県 費	9 3 6 万 6 千 円

- 武雄市の観光の誘客率の向上のため、関係自治体と連携し、国内・海外に向けた誘客推進活動を行います。

(国内)

九州三湯物語、九州巨木物語
よかところ佐賀キャンペーン

人との出会い・武雄っていいね！事業（緊急雇用） など

(海外)

九州東亜物語、誘客推進活動費
外国語パンフ作成
観光宣伝活動等運営事業補助金 など

■いのしし関連事業

予 算 額	2749万5千円
県 費	651万7千円

- 市内のいのしし対策として被害防除から特産品化までの事業を行います。

◆武雄市捕獲隊トッテクレンジャー（5名）

◆いのししパトロール事業（緊急雇用3名）

◆いのしし肉のPR・販路拡大 など



■ICTを活用したまちづくり

- ICT寺子屋設置事業（2名）

予 算 額	808万8千円
県 費	808万8千円

県の緊急雇用対策事業を活用し、ICTに関して知識の少ない初心者支援するICT支援員が常駐する「ICT寺子屋」を設置します。

- 電子教科書購入

予 算 額	380万7千円
-------	---------

教師指導用として中学校電子教科書を購入し、電子黒板を活用して、学力向上を目指します。

- 電子黒板購入（小学校5台 中学校3台）

予 算 額	800万0千円
-------	---------

電子黒板の整備を進め、生徒の理解を深めます。

- 学校ICT支援員配置事業（9名）

予 算 額	1940万6千円
県 費	1511万3千円

県の緊急雇用対策事業を活用し、電子黒板・電子教科書をより効率的に活用するため、ICT支援員を配置し、教員のICT活用力を高めます。



■ クリーンエネルギー車購入費

予算額

785万9千円

- 環境問題への取組みとして、クリーンエネルギー車の購入を行います。

・ 購入予定台数 2台



■ 訪問用電気自動車購入費

予 算 額	500万円
(基金繰入金)	500万円

- がん検診や特定健診の受診勧奨及び受診後の保健指導など積極的な訪問指導を行い、受診率向上や医療費の抑制につながるよう訪問用電気自動車を購入します。

※市民の方からの寄附金500万円（平成22年7月受入）を活用。

- ・ 購入予定台数 2台



■住宅用太陽光発電システム



予 算 額

1 0 0 0 万円

- 住宅用太陽光発電システムの設置費補助金を交付することにより、地球環境に優しいクリーンエネルギーの普及を推進します。

● 交付要件の変更

(前年度まで) 発電量 1 kWあたり 3 万円、限度額 1 0 万円



(H24年度) 発電量 1 kWあたり 2 万円、限度額 5 万円

<参考> H23年度の国・県の補助金額

国 4. 8万円/kW 上限 48万円

県 2. 5万円/kW 上限 10万円

(H24年度については未確定)

- 直面する課題への対応

■小・中学校施設整備事業

予算額	8億9347万9千円
国費	1億5025万0千円
市債	6億3910万0千円

- 老朽化した小・中学校の改修を行い、教育環境の改善に努めます。

- ・ 武雄小学校
- ・ 武雄中学校
- ・ 山内中学校



■市営和田住宅建替事業

予 算 額	3億24万7千円
国 費	4119万6千円
市 債	2億3780万0千円

- 老朽化した和田住宅を建替えることで、快適な住環境を形成すると共に高齢化対策、少子化対策に取り組みます。

- ◆ 1期工事（28戸）
→ 平成24年8月入居開始予定
- ◆ 2期工事（50戸）
→ 平成26年2月入居開始予定

新規事業



■山内町小・中学校給食自校炊飯化事業

予 算 額

502万3千円

- 山内学校給食センターの老朽化に伴い、山内町の小・中学校給食の運営方式を自校式へ変更します。

- 山内東・山内西小学校、山内中学校

H24 設計
H25 建築工事
H26 自校式給食開始

※山内中学校については施設整備事業で対応



■武内公民館建設予定地購入

予算額

3750万0千円

- 老朽化した武内公民館を新築するため、町内に新たに用地を購入します。



■一般道路整備事業

予 算 額

1億4000万0千円

市 債

1億 450万0千円

- 道路幅員が狭小な集落内の市道等の身近な生活道路を拡幅し、利便性と交通安全の向上を図ります。



■市道の維持・補修

予 算 額

1億3000万0千円

- 老朽化の著しい市道の舗装更新や路肩・法面・道路側溝等の補修・改修等を施設の長寿命化を図るとともに、交通安全の向上を図ります。



■防災行政無線整備事業

予 算 額

1億5175万5千円

市 債

1億3710万0千円

平成22、23年度で取組んだ防災行政無線の難聴地区解消のため、防災行政無線の子局の増設を行います。



■東日本大震災被災者支援事業

予 算 額	870万0千円
寄 附 金	870万0千円

- 東日本大震災での被災者・被災地への復興支援を引き続き行います。
 - ・ タウンサポート「チーム武雄」の派遣
 - ・ キッズタウンステイ補助金
 - ・ 技能ボランティア補助金



■みんなのバス事業

予算額	1496万3千円
-----	----------

県費	1471万0千円
----	----------

「地域の足」を確保するため、ワゴン車を活用して、交通空白地域における利便性の向上を図ります。

<運行予定>

4町（若木町、武内町、
山内町、北方町）

10コース



■介護予防住宅改修費助成事業

予 算 額

108万円

- 介護予防の一環として、介護認定を受けていない高齢者宅の手すり等の設置に対し経費の一部を助成します。

- ▼対象者：所得税非課税世帯で、介護認定を受けていない65歳以上の独居又は高齢者のみ世帯
- ▼内 容：手すりや段差解消などの住宅改修費に対し9割（限度額5万4千円）を助成



■子どもの医療費助成事業

予 算 額	1 億 1 4 6 1 万 4 千 円
県 費	5 5 2 3 万 6 千 円

- これまでの乳幼児医療費助成事業を拡充した「子どもの医療費助成事業」を実施します。

●従来の制度

(自己負担額)

- ・ 3歳未満児 【入院・通院】 現物給付 (※一医療機関、同月ごと)
- ・ 3歳以上就学前 【入院・通院】 償還払い 300円/月

※3歳以上就学前(通院)は市単独事業



●新制度

(自己負担額)

- ・ 3歳未満児 【入院・通院】 現物給付 (※一医療機関、同月ごと) 【通院】 (上限) 500円/回
- ・ 3歳以上就学前 【入院・通院】 現物給付 ※3回目以降無料
- ・ 小・中学生(市単独) 【入院のみ】 償還払い 【入院】 1000円/月

■佐賀県緊急雇用対策事業

予 算 額	8 6 6 0 万 4 千 円
県 費	8 6 5 9 万 8 千 円

- 緊急雇用対策事業行います。

雇用 45名

〈主なもの〉

- ・ 武雄市熱帯果実産地化事業
- ・ 人との出会い・武雄って“いいね！”事業
- ・ 「みんなのバス」モデル構築事業
- ・ 特別支援学級補助員配置事業
- ・ いのししパトロール事業

他

■住宅リフォーム緊急助成事業

予算額	6364万0千円
県費	6364万0千円

- 一般住宅の増築、一部改築及び改装を対象とし
合計最大40万円の助成を行います。

基本助成

15%
(上限20万円)

- 一般的な住宅リフォーム

対象住宅：持ち家

対象工事：県内業者施工
50万円以上の工事

+

加算助成

定額を加算
(上限20万円)

- 工事ごとに助成額を定め、
基本助成に加算

加算対象：耐震改修、エコ
UD、県産材、
三世代同居

||

最大 40万円

- 将来への備え

■合併振興基金積立事業

予 算 額

5億0万0千円

市 債

4億7500万0千円

- 安定的な財政運営を図るため、合併振興基金を創設し積立を行います。

平成24～27年度で毎年5億円

4年間で約20億円の積立てを行います。



III 特別会計の当初予算の概要

■ 特別会計の当初予算の概要

会 計	平成24年度 歳入歳出予算額	対前年比	
国民健康保険特別会計	64億1079万7千円	4億7417万0千円増	8.0%増
後期高齢者医療特別会計	5億7642万4千円	4234万8千円増	7.9%増
農業集落排水事業特別会計	7億1390万5千円	880万3千円増	1.2%増
公共下水道事業特別会計	5億7230万5千円	1億9605万5千円増	52.1%増
戸別浄化槽事業特別会計	2億9382万0千円	1249万3千円増	4.4%増
土地区画整理事業特別会計	7億6868万3千円	1億4413万2千円増	23.1%増
競輪事業特別会計	118億5184万7千円	▲28億5141万2千円	▲19.3%
給湯事業特別会計	1600万3千円	▲170万0千円	▲9.6%
新工業団地整備事業特別会計	1829万2千円	▲1024万5千円	▲35.9%